

岩手県就職セミナーin東京 質問事項一覧表

カテゴリ	質問事項	回答
やりがい・苦勞	<p>・総合土木職の業務内容とその魅力、辛さを感じている部分</p>	<p>【業務内容】 主に道路、橋梁、河川などの公共土木施設の整備や維持管理、かんがい排水施設・農道の整備等を行っています。現在は、東日本大震災津波からの早期復旧・復興に向けて、職員一丸となって取り組んでいるところです。 総合土木職の業務内容は、出先事務所と県庁では大きく異なります。出先事務所の主な業務は、工事発注(設計積算等)や現場監督、公共土木施設の維持管理などです。一方、県庁では、全県的な予算配分調整や執行管理、事業計画等にかかる国との協議などを行っています。</p> <p>【魅力】 総合土木職の魅力は、「社会への貢献度が大きいこと」、「自分が担当した現場が後世に残ること」、「自分が学校で学んだ専門知識を生かすことができること」などが挙げられます。</p> <p>【辛さを感じている部分】 現在、東日本大震災津波からの復旧・復興事業に従事する技術系職員が不足しています。是非、岩手県職員を受験して頂き、皆さんが持つ専門知識や能力を如何なく発揮して頂くことを期待します。</p>
求められる職員像	<p>・求める人材像 ・専門職以外で求められる能力は何か</p>	<p>岩手県では、「これから求められる人材像」を次のように考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会経済情勢に対する幅広い視野と深い洞察力を備えた職員 ② 失敗を恐れず何事にもチャレンジする精神と自立心にあふれた行動力に富む職員 ③ 常に現状に満足することなく、県民サービスの向上に主体的に取り組むことができる職員 ④ コスト意識等の経営感覚に優れ、自ら判断、責任において物事をやり遂げる職員 <p>(新・人材育成ビジョンより抜粋) また、5か条からなる「岩手県職員憲章」を制定し、ここに示された内容を意識しながら日々の業務にあたっています。</p> <p>【県民本位】【能力向上】【明朗快活】【法令順守】【地域意識】 県職員には、上記の人材像で挙げられている能力が常に求められていることができます。</p>
配属先	<p>・新採用職員の配属部署について ・採用後の配属先と異動について ・異動のサイクルについて</p>	<p>新採用職員の配属先や職員の異動先は、その年の欠員状況や本人の適性を総合的に判断して決められます。採用職種によっても配属先は異なります。採用後は、概ね3～4年のサイクルで人事異動が行われます。毎年勤務地や部署・職務内容などについて希望する機会があります。配属は本人の適性や欠員状況等を見て決定しますので、希望と異なる場合もありますが、さまざまな部署での経験は、必ず能力向上につながります。</p>
配属先	<p>・栄養教諭の配属先(勤務先)について</p>	<p>岩手県内の市町村立小中学校及び市町村立共同調理場(給食センター)、県立特別支援学校に勤務することになります。</p>
配属先	<p>・総合化学職の配属先(勤務先)について</p>	<p>本庁環境生活部・農林水産部や環境保健センター、各広域振興局の保健福祉環境部などに配属されます。</p>

カテゴリ	質問事項	回答
仕事内容	・若手職員の仕事内容	業務内容は職種別に異なり、多岐に渡っています。各職種の業務内容についてはパンフレットで紹介していますので、そちらをご覧ください。
仕事内容	・東日本大震災後、県職員に求められる役割の変化と今後の役割	東日本大震災後、行政には、地域のため、住民のための復興を形にしていくという役割が求められています。その中で、県職員は、被災者支援や復旧・復興のための取組に加え、市町村のサポートや国への政策提案を行っていくため、新しいことに創造的・独創的に取り組んでいくことが求められます。
仕事内容	・県立学校の業務内容について(学校事務の業務内容について)	児童、生徒の教育環境を整備し、充実した学校生活を教員とともに支援するため、主に次のような業務を担当します。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等の維持管理に係る事務 ・学校の収入、支出に関する事務 ・高校入試に関する事務 ・諸証明の発行及び卒業生台帳等の整理に関する事務 ・学校に勤務する職員の給与、諸手当、旅費、福利厚生等に関する事務
仕事内容	・管理栄養士の業務内容及び配属先について	○業務内容について 県立病院は、40床から700床まで規模が様々です。その中で管理栄養士の業務も規模により多少の違いはありますが、給食管理・栄養管理(NST専従)・栄養指導・衛生管理・経理事務等の業務を行っています。 ○配属先について 岩手県には県立病院が20病院ありますが、新採用となる方々の勤務希望病院を確認のうえ、現在勤務している管理栄養士も含めて配置先を検討し、管理栄養士全体の配置先が決定する流れとなります。
仕事内容	・建築職で、都市計画に関する業務に従事することができるか	都市計画に関する業務については、県土整備部都市計画課が担当しています。また、建築指導、住宅関係や営繕部門は、主に県土整備部建築住宅課が担当しています。 岩手県全体の建築職は平成23年4月1日現在63名であり、その内建築確認業務関係が33名、営繕業務関係が14名、住宅関係が8名、都市計画課が3名、その他5名となっています。岩手県職員の場合、相当の期間、同じ職員が継続的に同一業務に従事する必要がある等特別な事情がある場合を除き、職員個々の育成・能力向上のため複数分野の業務を経験させることが通常であり、一つの部署に従事する期間を、概ね3、4年程度としています。
仕事内容	・建築職員の被災地復興に関する業務内容について	被災地復興に関する業務として、災害公営住宅の建設と被災者向けの住宅対策があります。 災害公営住宅の建設については、県営と市町村営住宅を合わせ4,000戸から5,000戸を供給することとしています。業務の内容は、県営の場合は、用地取得、設計及び工事監理などであり、市町村営住宅については、建設支援業務などがあります。 また、被災者向けの住宅対策として、住宅ローンの利子補給、生活再建住宅支援事業として、住宅改修補助などを実施することとしています。

カテゴリ	質問事項	回答
仕事内容	・心理職の仕事内容について	心理職として採用された場合、本庁保健福祉部や福祉総合センター、児童相談所に配属となり、児童福祉に関する相談を受けたい方などのため、適切な援助方法の判断や助言・指導を行います。
仕事内容	・東京事務所ではどのような業務を行っているのか	岩手県東京事務所は、総務行政部と企業立地観光部という2つの組織から成り立っています。各部の事業内容については以下のとおりです。 <<総務行政部>> ・中央省庁、関係諸団体との連絡 ・県政推進に必要な情報収集 ・県税に係る徴収、滞納処分 ・復興支援に対する対応 <<企業立地観光部>> ・企業誘致に関する調査、情報の収集ならびにその促進 ・岩手県内企業への就職等の促進 ・観光の紹介、宣伝、情報提供、復興支援イベント等での観光PR ・いわて銀河プラザの管理・運営 ・県産品の紹介、宣伝、情報提供
仕事内容	・一般行政と一般事務の仕事の違いは何か	一般行政職と一般事務職では、受験資格が異なるため、採用試験に関する部分が違います。一般行政職や一般事務職として採用されると、各種施策の立案・実施と評価、許認可事務、国・市町村との連絡調整などを行うことになるため、仕事の内容については大きく異なる点はありません。
資格	・総合化学職について、工学系大学卒業のため食品衛生関係の資格がない場合には、試験時に不利になるのか	資格の有無が、採用試験の際に有利もしくは不利に働くことはありません。
採用試験	・試験日程の詳細について	平成24年度の試験日程は、平成24年4月20日以降に職員募集案内ホームページ、受験案内でお知らせします。
採用試験	・県内大学出身の方が採用が有利になるのか	県職員採用試験は、平等取扱の原則に基づき行われる競争試験ですので、過去の経歴や、出身地・大学により有利・不利になることはありません。よって、首都圏など県外へ出たことにより、職員採用試験に不利となることはありません。むしろ、他県での暮らしや様々な経験を通じて得た感性を、県行政に行かせるチャンスととらえてははいかがでしょうか。
採用試験	・水産の採用予定人数	採用予定人数については、平成24年4月20日以降に職員募集案内ホームページや受験案内でお知らせします。
採用試験	・東北地区以外の出身の方がどのくらい在籍しているのか	東北地区以外を出身地とする職員の数について、正確な数をお答えすることはできません。しかし、どの職員も、岩手のために働きたいという高い志を持ち日々の職務に取り組んでいます。また、出身地が採用試験において有利・不利に働くことはありません。
その他	・建築に携わっている女性の人数について	現在63名が建築職として働いていますが、うち4名が女性です。

カテゴリ	質問事項	回答
その他	・公務員の技術力の低下について、総合土木職の方はどう感じているか	<p>公務員の技術力の低下を懸念する声が聞かれますが、岩手県は、建設系専門誌の「発注者実力ランキング2011」において、総合第2位となっており、「技術力」、「マネジメント力」、「意欲」の全ての項目で都道府県全体のトップとなっているところです。</p> <p>この結果からも、岩手県の総合土木職の技術力が全国トップレベルであるとともに、今回の東日本大震災津波からの復旧・復興事業に従事することで、更なる技術力アップに繋がるものと考えています。</p>
説明会	・今後の合同説明会等の開催の有無	<p>説明会に関しては、日程等が決まり次第、岩手県人事委員会ホームページ等に掲載していきますので、そちらをご覧ください。</p>
政策	行政課題である産業基盤の強化、雇用対策などによる地域経済の活性化について伺いたい	<p>岩手県では、自動車・半導体及び医療機器関連産業を中心とする「連峰型の産業集積」の形成に向け、「育てる」、「創る」、「誘致する」などの視点による総合的な企業支援を推進し、国際競争力の高いものづくり産業の振興による産業基盤の強化に取り組んでいます。また、緊急雇用創出事業による雇用の場の創出などに取り組み、求人不足数の解消に一定の成果をあげています。</p>
政策	・東日本大震災からの復興策について、被災者を含めた県民に対して、タイムリーかつ分かりやすく説明する必要があると思うが、その説明方法等について具体的に教えてほしい	<p>岩手県では、今回の大地震とそれに伴う巨大津波からの復興を進めるため、8月11日に「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定しました。この復興計画は復興に向けての目指す姿や原則、具体的な取組の内容等を示す「復興基本計画」と施策や事業、行程表等を示す「復興実施計画」の2つの計画で構成されています。</p> <p>策定の過程においては、6月9日に基本計画案を公表し、6月21日～7月31日にパブリックコメントを実施し広く県民への意見聴取を行ったほか、地域住民に対して周知を図るため7月13～20日に沿岸を中心に県内14箇所地域説明会を行いました。また、6月22日には県政テレビ番組(30分)で復興に向けた状況とともに基本計画案の概要を紹介しました。(7月3日に再放送)</p> <p>そのほか、県公式HP内(いわて復興ネット)で基本計画・実施計画の内容や復興への歩みなどを発信しています。</p>
政策	・岩手県が目指す農業の姿を実現する具体的施策について	<p>農業振興施策の具体的取組内容について、取組の中心は、①担い手の確保・育成、②生産性・市場性の高い産地づくり、③農産物の高付加価値化となりますが、その具体的内容は多岐にわたっています。</p> <p>農業振興施策の主な取組内容については、「いわて県民計画アクションプラン」に位置付けられていますが、現在策定中の第2期アクションプランはパブリックコメント中ですので、岩手県公式HPより、この内容をご確認いただき、今後の農業振興施策への理解を深めていただければと思います。</p> <p>(パブリックコメント中のいわて県民計画第2期アクションプランの内容確認はこちら) http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=35774</p> <p>(いわて県民計画全般の内容確認はこちら) http://www.pref.iwate.jp/~hp0151/</p>

カテゴリ	質問事項	回答
受験者	・県外受験者における、社会人の割合	県外受験者の社会人の割合について、具体的にまとめたものではありません。 職員採用試験については、地方公務員法の平等取扱の原則に基づき実施しているので、性別や年齢、出身地、出身校、職歴などの有無等によって有利・不利が生じる事は一切ありません。
就職活動(民間)	・農業など自然に関する勤務先について	農業の場合は、自分で農業をやる、家の農業を継ぐ、サラリーマン的に農業に関わる等と働き方によりますが、これらの相談には(社)岩手県農業公社を案内しております。また漁業については地域の漁業協同組合に相談するのも良いと思われます。
就職活動(民間)	現在の岩手で求められている職種	現在岩手県内の求人情報で件数の多い職種は①生産工程・労務の職業29.6%、②専門的・技術的職業27.5%、③販売の職業14.7%、④事務的職業8.3%といった順です。(12/5現在ハローワーク岩手県内一般求人情報より)
就職活動(民間)	・WEB関連、企業広報の求人情報について	最近の傾向として情報系企業の求人ではWeb関連もしくはWeb関連技術経験者を求める求人が増えており、Uターンセンターの求人でも登録が有ります。企業広報の求人はなかなか出てこない求人案件の一つであります、粘り強く求人情報を探す事です。求人募集を行っていない企業・団体へは直接確認する事です。
就職活動(民間)	・求人募集を行っていない企業・団体へのアプローチについて	求人募集を行っていない企業・団体へは、求人情報について直接確認してみましょう。
仕事内容(民間)	中小企業の住宅・専門店の就職情報について	ハローワークでも建設業における求人を探す事が出来ます。12月5日現在の建設業の県内求人は112件あります。また11月に県内で開催された就職面接会でも建設関連の求人は出ておりました。
転職(民間)	・県外在職中の県内への転職率、転職活動方法について ・岩手県へのUターン就職者は何人いるのか	県外在職中の県内転職という調査資料が無くお答えできませんが、参考まで2006年7月に厚労省が行った人口移動調査という中で、県外に移動した人の中で過去5年間に於ける現住所への移動理由という調査の中で「職業上の理由で移動」した人の率は13%という数値が有ります、また今後転居予定の理由という調査の中では「転職」の為という方は2.8%という数値もあります。 ・転職活動については、自分でハローワークで県内求人を探し応募する、Uターンセンター、ジョブカフェ等求職支援機関を活用する事が考えられます。
資格(民間)	・コンピュータ関係の仕事を希望する場合、どれくらいのスキルレベルが求められるのか	情報系求人は大変間口が広く求人案件ごと求めるスキルがまちまちで一概には言えません。但し傾向として対応出来る言語、OS、Web開発経験等を明記する求人は多くあります。